

2018 年 1 月 9 日

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社

タイ Nong Fab (ノンファブ) LNG 受入基地建設における PMC 業務の受注について

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社（代表取締役社長：高木信以智、東京ガス株式会社 100%出資子会社、以下「TGES」）は、このたび、タイ PTT LNG Company Limited（以下「PTTLNG」）から、タイ王国において、また PTTLNG にとっても 2 箇所目となる、新たに立地する「Nong Fab (ノンファブ) LNG 受入基地」（750 万トン/年、以下「本受入基地」）の建設工事におけるプロジェクト・マネジメント・コンサルタント業務（以下、「PMC 業務」）を受注いたしました。

同国での日本企業による LNG 受入基地関連プロジェクトの PMC 業務の受注・実施は、2014 年に TGES（当時は東京ガス・エンジニアリング株式会社）が同社から受注した「Map Ta Phut (マプタプット) LNG 受入基地」拡張工事における PMC 業務に続き 2 例目となります。

PTTLNG の親会社であるタイ石油公社（PTT Public Company Limited、以下「PTT」）は、2023 年までに LNG の受入能力を現在の年間 1,000 万トンから年間 1,900 万トンまで増強する計画としており、本受入基地は、その一環で建設されるものです。

TGES は、PTT から 2 箇所目の新規 LNG 基地建設の候補地選定及び初期技術検討を受注し、その後、PTTLNG から基本設計業務（FEED）及び建設工事請負事業者選定業務を受注いたしました。これらの新規 LNG 基地に係る業務に加えて、「Map Ta Phut LNG 受入基地」での PMC 業務を通じ、東京ガスやその他国内外 LNG 受入基地建設、運用によって豊富に蓄積された TGES の高い技術力（※）が認められたことで、本 PMC 業務の国際入札に参加し、厳正なる審査同入札を経て今回の受注に至りました。

※ 東京ガスの日本国内における 4 基地をはじめ、タイ、韓国、フィリピン、台湾、インドネシア、UAE、インド、バングラデシュ、ミャンマー、ベトナム、中国、スペイン、ポルトガルなど多数の LNG 受入基地エンジニアリングに関わった実績

TGES は、「東京ガスグループ 2018-20 年度経営計画『GPS2020』」で掲げている「海外市場における天然ガスを中心とした環境に優しいエネルギー供給」の実現に向けて、今後も事業を積極的に展開してまいります。

<PMC 業務の概要>

発 注 元：PTT LNG Company Limited

契 約 期 間：2021 年 12 月まで

主な業務内容：PTTLNG の代理として、建設工事請負事業者が行う設計・調達・建設・スタートアップ（試運転）を問題なく計画通り円滑に進めるようプロジェクト全体の管理を実施するもの。

以上

<本件に関するお問合せ先>

東京ガスエンジニアリングソリューションズ (株)

経営企画部 島川・佐藤 電話 : 03-6452-8407

(参考資料)

地図 :

